



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月5日

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン  
 コード番号 9027 URL <http://www.loginet-japan.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 輝美  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画管理本部長 (氏名) 橋本 潤美  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札  
 TEL 011-251-7755

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	45,977	8.0	2,562	18.9	2,550	18.2	1,691	13.9
30年3月期第3四半期	42,562	5.4	2,155	19.2	2,158	21.0	1,484	16.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,627百万円 (7.1%) 30年3月期第3四半期 1,519百万円 (4.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	277.20	
30年3月期第3四半期	243.28	

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	31,424	11,798	36.8
30年3月期	29,068	10,394	35.0

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 11,550百万円 30年3月期 10,181百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				36.00	36.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	6.5	2,780	5.9	2,800	6.0	1,810	1.3	296.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	7,010,681 株	30年3月期	7,010,681 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	910,305 株	30年3月期	910,219 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	6,100,431 株	30年3月期3Q	6,101,511 株

(注)前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績及び計画等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の継続的な改善が見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。米中貿易戦争による中国の景気後退が鮮明となるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。物流業界においても、運賃単価の引き上げなどによる収益改善の動きはみられるものの、人件費上昇や原油価格の高止まりなどコスト負担は増加しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは平成28年度からスタートした中期経営計画の最終年度として、ネット通販事業分野への積極的な参入、長距離幹線輸送「R&R」の販売、東名阪での事業活動を拡大するとともに、変化する市場環境、経営環境に即した組織再編や社内制度の整備を進めるなど、将来を見据えた取組みを積極的に推進してまいりました。

その結果、札幌通運グループにおいては、本州地区での新規事業の取扱増加や引き続き適正運賃の収受を推進したことなどにより、営業収益は前年同期比28億4千1百万円増(+9.0%)の343億9千3百万円、セグメント損益については前年同期比1億4千7百万円増(+9.3%)の17億2千4百万円となりました。

一方、中央通運グループにおいては、鉄道利用運送部門の業績が伸び悩んだことから、営業収益は前年同期比7千万円減(△1.4%)の50億2千8百万円、セグメント損益については前年同期比3千万円減(△9.1%)の3億2百万円となりました。

また、ロジネットジャパン西日本グループにおいては、新規事業の取扱増加により、営業収益は前年同期比5億7千1百万円増(+10.4%)の60億5千7百万円、セグメント損益は前年同期比2億6千4百万円増(+138.0%)の4億5千5百万円となりました。

これらの結果、当社グループ全体の営業収益は、前年同期比34億1千5百万円増(+8.0%)の459億7千7百万円となりました。営業利益は前年同期比4億6百万円増(+18.9%)の25億6千2百万円、経常利益は前年同期比3億9千2百万円増(+18.2%)の25億5千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2億6百万円増(+13.9%)の16億9千1百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前期末から23億5千6百万円増加し、314億2千4百万円となりました。

このうち、流動資産は営業未収入金、その他流動資産の増加などにより14億6千8百万円増加し、112億7百万円となりました。また、固定資産は車両の取得などにより8億8千8百万円増加し、202億1千7百万円となりました。

当第3四半期末の負債は、前期末から9億5千1百万円増加し196億2千6百万円となりました。

このうち、流動負債は営業未払金の増加などにより15億4千6百万円増加し、164億2千5百万円となりました。また、固定負債は借入金の返済を進めた結果5億9千4百万円減少し、32億円となりました。

これらの結果、純資産は14億4百万円増加し117億9千8百万円となり、純資産から非支配株主持分を控除した後の自己資本比率は36.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月10日発表値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	574,590	508,859
受取手形	728,942	711,380
営業未収入金及び売掛金	7,306,515	8,349,873
たな卸資産	83,697	121,757
その他	1,058,996	1,529,084
貸倒引当金	△13,130	△13,291
流動資産合計	9,739,611	11,207,663
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	3,467,119	3,444,828
機械装置及び運搬具(純額)	5,177,960	5,954,230
リース資産(純額)	764,917	618,547
土地	5,976,127	5,976,127
その他(純額)	376,753	470,450
有形固定資産合計	15,762,878	16,464,184
無形固定資産	211,636	245,156
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,026,224	1,165,332
繰延税金資産	310,727	319,034
差入保証金	1,535,518	1,538,008
その他	491,890	495,188
貸倒引当金	△9,993	△9,715
投資その他の資産合計	3,354,367	3,507,848
固定資産合計	19,328,882	20,217,190
資産合計	29,068,494	31,424,853

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	798,178	885,903
営業未払金及び買掛金	4,910,529	5,640,224
短期借入金	5,343,427	5,581,122
リース債務	213,173	196,692
未払法人税等	578,626	349,218
役員賞与引当金	94,650	-
その他	2,939,945	3,772,137
流動負債合計	14,878,530	16,425,300
固定負債		
長期借入金	2,351,905	1,843,326
繰延税金負債	231,235	211,578
リース債務	573,837	439,809
役員退職慰労引当金	200,840	219,670
退職給付に係る負債	206,948	227,404
資産除去債務	19,810	19,810
その他	211,141	239,163
固定負債合計	3,795,718	3,200,763
負債合計	18,674,248	19,626,063
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	567,929	567,929
利益剰余金	9,221,125	10,692,539
自己株式	△543,336	△543,498
株主資本合計	10,245,718	11,716,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△64,345	△166,060
その他の包括利益累計額合計	△64,345	△166,060
非支配株主持分	212,872	247,880
純資産合計	10,394,245	11,798,789
負債純資産合計	29,068,494	31,424,853

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業収益	42,562,716	45,977,790
営業原価	38,762,957	41,697,579
営業総利益	3,799,758	4,280,211
販売費及び一般管理費	1,643,788	1,717,726
営業利益	2,155,970	2,562,484
営業外収益		
受取利息	8,025	7,061
受取配当金	32,918	32,193
寮収入	39,093	39,620
その他	67,685	52,384
営業外収益合計	147,723	131,260
営業外費用		
支払利息	44,969	35,652
寮支出	83,661	82,615
その他	16,946	25,041
営業外費用合計	145,577	143,308
経常利益	2,158,116	2,550,436
特別利益		
出資金持分払戻益	180,309	—
固定資産売却益	2,059	1,526
特別利益合計	182,368	1,526
特別損失		
固定資産除売却損	4,326	8,136
投資有価証券売却損	2,534	—
災害による損失	—	25,418
その他	1,154	—
特別損失合計	8,015	33,554
税金等調整前四半期純利益	2,332,469	2,518,408
法人税、住民税及び事業税	747,942	812,335
法人税等調整額	52,670	△23,209
法人税等合計	800,613	789,126
四半期純利益	1,531,856	1,729,281
非支配株主に帰属する四半期純利益	47,483	38,250
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,484,372	1,691,030

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	1,531,856	1,729,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,537	△101,715
その他の包括利益合計	△12,537	△101,715
四半期包括利益	1,519,319	1,627,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,471,836	1,589,312
非支配株主に係る四半期包括利益	47,482	38,254



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	ロジネット ジャパン西 日本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	31,551,243	5,098,745	5,486,155	42,136,144	426,572	42,562,716
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,308,650	366,607	1,250,925	2,926,183	1,153,818	4,080,001
計	32,859,893	5,465,353	6,737,080	45,062,327	1,580,391	46,642,718
セグメント利益	1,577,476	332,786	191,514	2,101,777	435,741	2,537,519

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は380,042千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,101,777
「その他」の区分の利益	435,741
受取配当金の消去	△380,042
その他の償却額	△1,506
四半期連結損益計算書の営業利益	2,155,970

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	ロジネット ジャパン西 日本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	34,393,137	5,028,323	6,057,229	45,478,690	499,100	45,977,790
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,655,532	572,759	1,948,610	4,176,902	1,296,262	5,473,165
計	36,048,670	5,601,082	8,005,839	49,655,593	1,795,362	51,450,955
セグメント利益	1,724,863	302,624	455,738	2,483,226	525,881	3,009,108

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は429,486千円であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,483,226
「その他」の区分の利益	525,881
受取配当金の消去	△429,486
その他の償却額	△17,136
四半期連結損益計算書の営業利益	2,562,484